

まちづくりペタンク

ペタンクの魅力堪能

市協会が初の交流大会



赤磐市ペタンク協会 技の魅力を堪能した。10〜80代の約40人が

による初の交流大会が9日、山陽ふれあい公園(同市正崎)で開かれ、一般市民が協会メンバーの手ほどきで競



狙いを定めて金属球を投げる参加者

十一月十二日の山陽新聞に交流ペタンク大会の記事が掲載されました。「ペタンクでまちづくり」

の価値をくんでいただき積極的に取材をしてください。赤磐支局の近藤哲也様、本当にありがとうございます。

と「イエーイ」とハ イタッチで喜び合った。プレートの合間には協会メンバーが「ふわりと浮かせて投げると球が転がらないよ」対戦相手の球をほじき出すのも戦略などとア ドバイスした。同僚に誘われて参加した公務員山根富貴さん(25)「赤磐市岩田」は「一球で戦況がガラリと変わる。初めてプレーしたが、見た目以上に奥深く熱中できる」と話した。協会は、2023年度から市の補助金を活用しながら市民の交流や健康づくりを促す事業に取り組み、大会はその一環。今後も体験会や交流会を随時行うという。(近藤哲也)

取り組みを知ってもらおう

私たちが協会員にとつて、行事を組んでも「知ってもらえない」「参加してもらえない」では、次回行事への意欲がわいてきません。今大会では事前の大会PR記事と事後の大会報告記事を掲載して頂き、大勢の参加を得て大会が実施でき、そのことを大勢の市民に知って頂くことができました。山陽新聞社様には感謝しありがとうございます。今後とも、地元根付いて地域づくりに貢献する私たちの取り組みに注目とご支援をお願いいたします。

吉井公民館まつり

十一月九日から十日に吉井公民館で様々な展示会(公民館まつり)が開かれました。ペタンクも活動の様子を伝える展示をしました。機会があればこのような取り組みも地道にやっていく必要があると思います。

第3回会議実施 今後の活動について

十一月十九日、尾谷公会堂で開催しました。主に次の内容について意見交換を行いました。

① 今後の活動計画

十二月十日(火) 山陽小学校クラブ活動 協会員五名〜十名
十二月十四日(土) 岡山市との交流大会

山陽ふれあい公園

協会員はダブルスチームを作って参加
十二月二十六日(木) 吉井公民館ペタンク講座

吉井中学校グラウンド

協会員五名〜十名
② 来年度の「モデル事

業」継続について 助成金は必要 行政の強みをもっともつと使って欲しい 来年度継続に向けて準備をしていく
③ 市ペタンク協会の組織・運営について 協会運営のためと県ペタンク連盟加入のため 会費千円(年間)を集めて活動していく
← 二月に会議を開き 検討・決定する。 会員全員でペタンクの魅力を他の人に伝え、地域や職場の交流・健康づくりを推進していきましよう。



情報はQRコードから



11月9日〜10日 吉井公民館展示